Excelで順列と組み合わせを計算

階乗

- 数値の階乗を計算するには、**FACT**関数を利用します。

FACT (数値の階乗の値を返す)

- 書式 : FACT(数値)
- 引数 : 数値 … : 階乗を求める正の整数 (小数点以下がある数値を指定すると小数点以下が切り捨て)
- 例:10の階乗を計算する

```
=FACT(10)
```

順列

- 順列 (異なる n 個のものから r 個を選んだ並べ方) を求めるには、**PERMUT**関数を利用します。

PERMUT (順列の値を返す)

- 書式 : PERMUT(総数, 抜き取り数)
- 引数 : 総数 … : 選びとる対象となる全体の数
- 引数 : 抜き取り数 … : 選びとる数
- 例:8個のものから3個を取る順列の値を計算する

```
=PERMUT(8, 3)
```

組み合わせ

- 組み合わせ (異なる n 個のものから r 個を選ぶときの組み合わせ) を求めるには、**COMBIN**関数を利用します。

COMBIN (組み合わせの値を返す)

- 書式 : COMBIN(総数, 抜き取り数)
- 引数 : 総数 … : 抜き取る対象となる全体の数
- 引数 : 抜き取り数 … : 抜き取る組み合わせ 1 組に含まれる項目の数
- 例:8個のものから3個を選ぶときの組み合わせの値を計算する

```
=COMBIN(8, 3)
```